

学園100年の歩み

地域とともに歩んだ 100年の歴史

1915年(大正4年)、ここ津山(旧
苦田郡津山町)の地で産声を上げて以
来、一貫して地域の暮らしを支える人づく
りに邁進してきた。

地元の強い要請を受け、苦田郡教育会が
女子教育を担う津山高等裁縫学校を設置
し、実に100年という長い歴史の中で、
地元地域・社会のニーズにこたえるべく、幾
たびかの教育改革を行ってきた。戦前には
高等女学校を設立し女子教育の充実に寄
与。戦後の学制改革により新制の美作女子
高等学校(現岡山県美作高等学校)を母体
として、1951年(昭和26年)美作短期
大学を設置。さらに1967年(昭和42年)、
4年制大学の開学へと発展した。同時に附
属幼稚園の開園、大学院・地域生活科学研
究所の併設等、地域に根ざした教育活動を
展開してきた。

2015年(平成27年)、100周年記
念事業としてキャンパス整備事業を推進。
美作大学・美作大学短期大学部に図書館と
情報教育を融合した、「学園創立100周
年記念館」が完成する。岡山県美作高校で
は記念校舎の建設が始まる。



平成26年 七夕 浴衣で授業



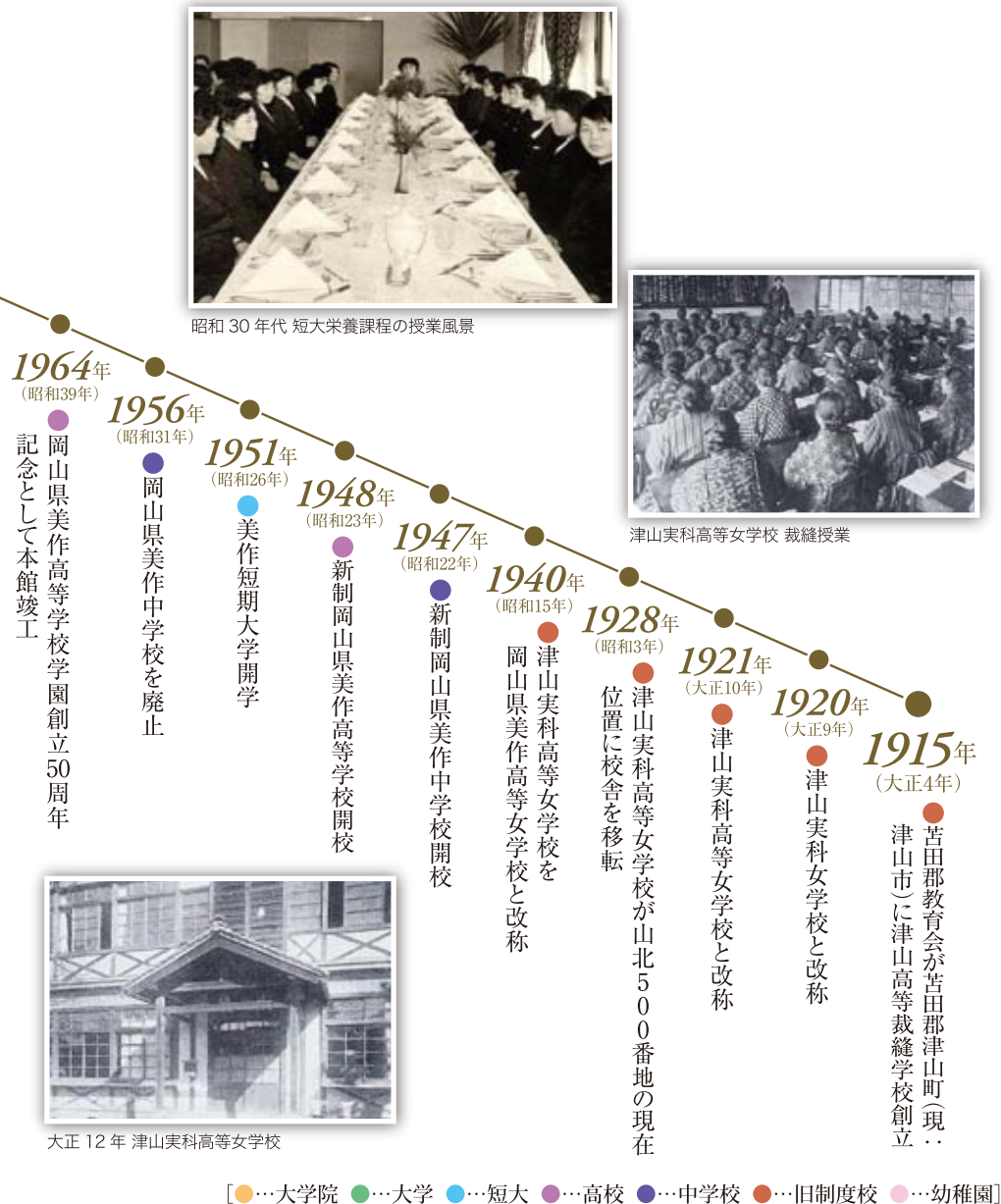
昭和50年代 大学祭で市内パレードする短大の鼓笛隊



昭和30年代 短大栄養課程の授業風景



津山実科高等女学校 裁縫授業



●…大学院 ●…大学 ●…短大 ●…高校 ●…中学校 ●…旧制度校 ●…幼稚園



昭和42年 美作幼稚園園舎



昭和42年 美作女子大学本館(現:1号館)



昭和26年 美作短期大学(山北)

